



# 徳永しげきタイムス

愛媛県議会議員 徳永しげき活動報告【平成18年6月1日発行 第4号】2006.6 VOL.4

## 今治新時代!! 地方から政治の胎動が始まる!!

### 愛媛県最年少県議としての使命

■平成18年度がスタートし、桜から新緑と素晴らしい季節が続いておりますが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

私は元気で有意義な毎日を過ごさせていただいております。とは言え、「忙しいでしょう」とたずねられると「そうですね。気忙しい時期になりました」と心の底からお答えしなければならない、議員としての最終年度を迎えました。今年度はふるさとを取り巻く諸課題に懸命に取り組みながら、来るべき戦いにも十分な備えをしまいたいと考えております。

■今年の元旦、日の出を拝みながら、ふと苦しかった時期に先輩から言われた「朝陽や太陽に手を合わせることも大事だが、夕陽に手を合わせる気持ちを忘れないように」という言葉を思い出しました。人は誰でもその時々勢いのあるものに迎合するものであるし、そのこと自体は構わない。しかし、**今の自分が誰のおかげであるのか、何を目指してどこへ向かおうとしているのかという自分としての座標軸をしっかりと持たないと自分が自分でなくなってしまう**という意味であると私は理解しております。

皆さんに蒔いていただいた大樹の種は、政治という地で少しずつではありますが、着実に芽が出始めました。当時33歳であった青年は現在36歳となり、**愛媛県の最年少県議としてその使命に燃えています**。信条である「蔭涼」の言葉の如く、**大樹となって多くの方々に涼やかな木陰を与えたい、その思いの実現に向かって着実な歩みをこれからも続けていきたいし、「地方から政治の胎動」が始まった今、その担い手としてこれまで以上に知恵を絞り、汗をかいてまいりたいと考えております**ので、皆様方には今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

あせるな いそぐな ぐらぐらするな  
馬鹿にされようと 笑われようと  
自分の道をまっすぐゆこう  
時間をかけて みがいていこう

心の中で念じながら、この一年全力で走り抜きます!

愛媛県議会議員 徳永しげき

